

つながり



家庭教育は、
親子で、**まなぶ・たのしむ**

(石山幼稚園 家庭教育学級 もくもくもっくんハウス(火災訓練)学習活動様子)

《編集》
都城市教育委員会
生涯学習課
TEL 0986-23-0962
《発行》
令和4年3月

トピック

- ・家庭教育学級について
- ・保護者の
大事な子育ての役割
～子どもの長所発見～
- ・家庭教育を
本からもまなぼう
- ・家庭の日って
知ってますか？

家庭教育学級に参加しませんか？

家庭教育学級は保護者に家庭教育に関する学習機会を提供し、家庭教育の充実を図る目的で、市内の市立小・中学校、特別支援学校、幼稚園、保育園に開設されています。

子育てなど家庭での教育に関することのほかに、人権学習、体験学習、視察研修など各学級で趣向を凝らした学習内容が年間を通して実施されています。

また、家庭教育学級は学ぶ場だけではなく、保護者同士の交流の場にもなっていますので、身近な仲間づくりにも役立ちます。

家庭教育学級への参加申し込みについては、お子さんが通う小・中学校、特別支援学校、幼稚園、保育園にお問い合わせください。

※新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、開設していない学級もあります。

家庭教育学級の様子を紹介します

「家庭教育学級ってどんなことをしているんだろう…」、「家庭教育学級の活動は、何をすればよいのかわからない…」そんな時は、生涯学習課にお問い合わせください。生涯学習課では、出前講座(ハロー元気講座:企業や団体が講師/ハロー市役所元気講座:市役所職員が講師)や、生涯学習ボランティア指導者を紹介することが可能です。幅広い体験や知識を得て、まなびに繋げましょう。

他にも、マイクロバスを予約しての施設見学や、Mallmallのまちなかキッチンで活動している学級もあります。



(さくら幼稚園 Sakura学級 フラワーアレンジメント学習活動様子)



ハロー元気講座
ホームページ



ハロー市役所元気講座
ホームページ



生涯学習ボランティア指導者
ホームページ

保護者の大事な子育ての役割 ～子どもの長所発見～

都城市教育委員会 社会教育指導員 曾原 良平



1 親子の信頼関係は、子どもの長所を見つけることから

我が子が進級・進学すると、親としてはつつい他の子どもの違いが気になります。「うちの子は落ち着きがない」「友達とうまく遊べない」など、心配ばかりしてしまいます。我が子がうまくいかないと、自分の子育てのせいではないかと悩むのも、子どもをもつ親なら誰しもが通る道です。

進級・進学した当初は、子ども自身も環境の変化に戸惑うときです。そんなときこそ、親としては、しっかり子どもの支えになりたいものです。親が、我が子のできないことを数え上げてばかりいると、子どもの自己肯定感は低くなってしまいます。自己肯定感が低い子どもは、自信と希望を失い、他者との関わりにも尻込みをするようになります。子どもは親の期待に応えたいという欲求をもっているから、自分の姿を否定されることが続くと、心の成長が難しくなってしまうのです。

では、どうすればよいのでしょうか。答えは、子どもの姿を肯定し、**ほめること**です。成長過程にある子どもは親の目から見ると危なっかしく間違っただけのことばかりしているように思われます。しかし、子どもは自立しようという意欲、純粋な好奇心と疑問と素直な感性をもっています。ほめることはいくらでもあるのです。親が「助かったよ」「ありがとう」「すごいね」とどんなことにも声をかけてほめると、子どもは認められている自信をもち、複雑で困難な社会の中に向かって歩いて行けるのです。

子どもの姿をよく見て、子どもの長所を認める親子関係を築くことで、子どもは深い信頼を寄せるようになります。子どもは、親が世間体でものを言っていたり、他者と比べていたりすることに敏感に反応しますから、注意が必要です。



2 成長過程には問題が起こるのは当たり前

子どもの成長に伴って、様々な失敗や問題が起こります。子どもは、生きる知識と経験を得るために、日々新しい局面に出会います。失敗も当たり前、問題が起こるのも当たり前です。大切なことは、どのように問題解決を図るかです。頭ごなしに我が子や他者を責めると、子どもの成長にとってはマイナスです。問題が起きたときこそ、親がよく話を聴き、冷静に判断し、穏便に解決するという姿勢を見せることです。その時に、親子の信頼関係ができていれば、子どもは親の姿勢を見て学び、生きる知恵として蓄えることができます。親の大事な役割は、子どもの長所を認め自己肯定感を育て、信頼し合える親子関係を築くことです。そのような親子関係が築かれていれば、失敗や問題が降りかかって、柔軟に解決することができます。

最後になりましたが、本市には、全国に誇るべき図書館、ユニークな展示会を行う美術館、郷土の温かみと誇りを感じることでできる歴史資料館、親子で自然体験のできる御池青少年自然の家などがあります。子どもと一緒に訪れ、**子どもの長所や新しい顔を発見**してみましょう。

家庭教育を本からもまなぼう ～図書館司書からのオススメの本～



「佐々木正美の子育て百科 入園・入学前に親がしておきたいこと」
佐々木正美／著 大和書房／出版

子どもの心の成長に寄り添った子育ての基本を児童精神科医が教えます。叱るときに心がけること、甘えとワガママの違いなど、保護者からの質問お悩みQ&A付き。シリーズの第2巻では対象に保育者や教師を加え「学童期」から「思春期」の子育てについて書かれています。

本市には、Mallmall内にある市立図書館、高城図書館、くれよん号など、様々な本と触れ合える場所があります。市立図書館では、子育て・家庭教育の本棚(2階230の本棚)や、お子さんと一緒に本を読む“リビングのような席”などがあります。親子で本を探してみたり、子育てについての本を読んでみたり、是非一度お越しください。



「しつないあそびの絵本」

WILLこども知育研究所／編・著 金の星社／出版

お出かけできない日も、リズム感、思考力、想像力、集中力、造形力などさまざまな力を使っておうちの中で楽しみましょう。準備や道具、あまり場所をとらない簡単な遊びから少し手の込んだ実験や工作、体をたくさん動かすゲームまで室内遊び20種をイラスト付きで紹介しています。

家庭の日って知ってますか？

宮崎県では、毎月第3日曜日を「家庭の日」と定め、親と子をはじめ、家族の“心触れ合う5つの共感活動”を推進しています。家族が温かい心のふれあいをもち、明るく楽しく過ごす「我が家の家庭の日」を家族みんなと一緒に作りましょう。



「5つの共感」をキーワードとし、「家庭の日」を明るく楽しく過ごしましょう。

- 「共遊」 親子一緒に自然と親しんだり、地域行事などに参加したりしましょう。
- 「共食」 家族一緒に楽しく語らいながら食事をしましょう。
- 「共話」 その日にあった出来事などを、家族で話し合しましょう。
- 「共汗」 スポーツや野外活動に家族そろって参加し、心地よい汗を流しましょう。
- 「共働」 地域の奉仕活動などに積極的に参加し、親子一緒に働きましょう。